



ポンドダンス、インダンス、ポンドダンスの要素を合わせたチアダンス部門中学生編成と小学生のポンド部門ユ-

「練習を重ね、少しずつ成長し、ようやく全国大会に出場できるチームに成長しました」と笑顔で話す粕谷さん。指導するZIPPY Cheer Dance Crewのチーム、BEAMYとCLOVERSが11月29日(日)に東京都で開催されるオールジャパンチアダンスチャンピオンシップ2015決勝大会に出場を決めました。

2年連続の決勝大会出場ですが、昨年は不戦勝。今年は仙台のチームを抑えて堂々の出場となり、これまでの練習の成果が結果として表れました。出場するのはジャズダンス、ヒップホップダンス、ラ



さかたの風

今月の人

Kasuya Izumi
粕谷 泉さん(新橋五丁目)
ジッピーチアダンスクルー
ZIPPY Cheer Dance Crew代表

ス編成の2部門。チアダンスは東北地方では知名度が低く、競技人口も少ない競技。粕谷さんが6年前結婚を機に本市に移住し、指導を始めた当時は「チアダンスって何？」という人が多かったそうです。アクロバットのようなものを思い浮かべる人も多いと思いますが、チアダンスは練習すれば誰でもできるダンスとのこと。表現することにコンプレックスを感じている子どもでも、練習を重ねることですれが払拭され、楽しく、自信を持って演技できるようになります。初めは掛け声を出すのも恥ずかしくて、「初めは掛け声を出すと、粕谷さんは6年前を振り返ります。今では、子どもたち自らが大会に向け練習メニューを考えるなど自主性が育ってきているそうです。」

また競技大会とは別に、イベントに出演したり、施設を慰問して演技を披露したりしています。「チアダンスを通して、見る人たちに笑顔をお届け、勇気づけることで多くの人を元気にしたいです。チアダンスにはそれができる力があると思います」と語る粕谷さん。チアダンスという新しい風を酒田に吹かせてくれた粕谷さんと子どもたちの今後の活躍に期待します。

旬の食材を使った料理を酒田市食生活改善推進員が紹介します

酒田の旬

19

鮭のちゃんちゃん焼き



- 【材料】(4人分)
- 生鮭切り身..... 4切れ
 - キャベツ..... 120g
 - 玉ネギ..... 120g
 - ニンジン..... 40g
 - ニンニク..... 1/2かけ
 - サラダ油..... 大さじ1+1/3
 - みそ..... 大さじ3+1/3
 - 酒..... 大さじ1+1/3
 - A 砂糖..... 大さじ1+1/3
 - みりん..... 大さじ1+小さじ1/3

西荒瀬地区にある日向川には、毎年秋になると鮭が遡上してきます。脂がのった、新鮮な鮭が手に入る時期にお試ください。

- 【作り方】
- ①キャベツは火の通りが良い大きさのざく切りにする。玉ネギとニンニクは薄切り、ニンジンは短冊切りにする。
 - ②Aを良く混ぜ合わせ、みそだれを作っておく。
 - ③フライパンに油をしき、ニンニクの香りが出るまで弱火で加熱する。鮭を入れ、両面色づくまで焼いてから、野菜を周りに置いてふたをし、15分程度弱火で蒸し焼きにする。鮭と野菜に火が通ったら、鮭に②をかけ、皿に盛る。

食生活改善推進員からのワンポイント

さまざまな季節の野菜をたっぷり加えてみましょう。

東北公益文科大学

キャンパスレポート

43

秋田県立大学との「鳥海合同ワークショップ」

松田 映夢(4年)

9月25日から27日にかけて秋田県立大学と合同で行われたワークショップに参加しました。環鳥海地域の魅力発掘と情報発信を目標に掲げ、3回目の開催となった今年度は「環鳥海地域で活躍する人を発信せよ」というテーマの下、両大学合わせて14人の学生が参加。4班に分かれ現地での調査やインタビューを行い、最後は調査を通して発見した各地区の魅力を数分の動画にまとめ、秋田、山形両県の方々へ報告を行いました。

私は秋田の誇るご当地ヒーロー「超神ネイガー」の生みの親である海老名保氏を取材。活力あふれる人柄に触れ、幼い頃のようなワクワクした気持ちになり、これから社会へと踏み出す勇気ももらいました。この気持ちを忘れずさまざまな事に挑戦していきたいです。また作成した動画は今後Youtubeへ投稿予定です。ぜひ多くの人に見てもらいたいです。



▲秋田県立大学の学生と一緒に

園東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117



本社工場



製造部プレス担当 高橋 直人さん

金属部品を加工しています。今日もミス無く安全に！

おしごと拝見



市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。

vol. 31

酒田発のオリジナル農機工房

当社は創業以来50年、かゆいとこるに手が届くオリジナルの小型農機を製作してきました。現在は稲作用の省力機械をメインとし、除草機や畔に漏水防止シートを貼る機械、種をまく機械に据え付ける薬剤散布装置などを扱っています。

お客さまの要望を素早く製品に反映できるのが強みで、設計からプレス、溶接、塗装、組み立てまでの製造ラインを有しています。製品は代理店販売の他、通信販売で全国に直接お届けしています。

ニーズに沿った製品開発と販路拡大

生産者からの要望が新たな製品開発につながった一例として、水田用の除草機があります。通常の水稲栽培では除草薬を使用しますが、無農薬栽培の場合は、ぬかるむ水田で稲と稲の間を移動しながら、中腰になって除草を行う必要があります。そうした重労働を解消するために開発したこの製品により、稲や水田にダメージを与えることなく、簡単に除草することが可能になりました。

また、近年はJETRO（日本貿易振興機構）などを通じて、水稻栽培が盛んなアジア諸国への販路拡大にも取り組んでいます。

【企業の概要】

沿革 昭和25年創業、昭和43年法人化し株式会社
備前製作所となる、平成4年現商号となる。

商号 株式会社美善

資本金 2,000万円

住所 酒田市岡羽町9-20 ☎23-7135

代表者 代表取締役 備前 仁

従業員数 12人

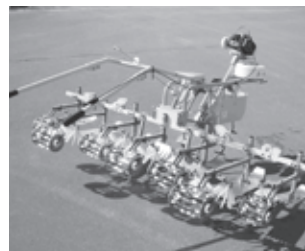
事業内容 小型農業機械製造、各種機械加工

ホームページ <http://www.kk-bizen.jp/>



プレス加工

水稻の育苗箱搬送装置の部品を、プレス機によって曲げ加工しているところです。



株間除草機「あめんぼ号」

放射状とかこ状の2種類のローラーが、雑草を絡め取ったり、土中に埋め込んだりすることで水田の除草を行います。

言葉の力

酒田っ子 子育て講座

すくすく

88

お問い合わせ
子育て支援課 ども支援係
☎2655735

東北公益文科大学教授
國眼眞理子 先生

「マーちゃん、今日、エロンしちゃったの」マーちゃんは、保育園から帰るなり、ママに訴えました。「どうして、エロンしたの」とママが聞くと「ノンちゃんが、ペンしたの」。

「エロンした」という言葉から激しく泣いたことが伝わってきます。「ペンした」という言葉からは、ちよっと押されたのではなく、2人がぶつかった様子を想像することができます。こんなふうに行動や触感、気持ちを表す言葉を「オノマトペ」といいます。何やら呪文のような響きがありますが、ニュアンスを表すには便利な言葉です。「泣いた」よりも「ワーワー泣いた」、「見た」よりも「ジロジロ見た」、「ザツと見た」と言うと、どんな様子かがわかりやすいですね。

文部科学省の調査によれば、学校内で先生や友だちをのしのしる行為や、殴る蹴るなどの暴力

行為はここ1、2年、中高生では減る一方、小学生では増加しています。背景には大人たちのせわしなくゆとりのない生活があるのではないかと指摘されています。何気ない子どもたちの言葉に、我々大人がきちんと耳を傾けているだろうかと反省させられる現象です。

言葉は知育の面だけではなく、感情を表現したり、自分の気持ちをコントロールしたりする大切な役目を果たします。言葉が育つと、状況や気持ちを上手に表すことができるようになります。わかってくれないというイライラを、暴力などで表現しなくてもよくなります。子どものオノマトペを幼児語だと片付けずに、その微妙なニュアンスをくみ取って、言葉を交わす楽しさを味わってほしいと思います。